

（件名）北京と天津のセブンイレブン全店で北海道PRを実施

セブンイレブン中国が、北京と天津の全店舗で、北海道フェアを実施しました。北海道風弁当の販売と、北海道観光PRが主な内容です。

◆セブンイレブン北京・天津北海道フェア

期 間：2023年4月11日から約1ヶ月

店舗数：525店舗（北京地区315店舗、天津地区210店舗）

商 品：北海道風弁当（スープカレー弁当、豚丼、豚焼肉おにぎり、あずきスフレケーキ）  
2kgパックの道産米（ななつぼし）を販売（※北京市内の約30店舗のみで実施）

PR企画：弁当のパッケージに印刷したQRコードから、北海道観光PR動画などへリンク  
北海道観光パンフレットを購入者にプレゼント（※北京地区のみで実施）

今回販売された弁当については、食材は現地産を使用しておりますが、スープカレーや豚丼など、北海道料理の味をかなり高いレベルで再現しており、北京在住の北海道出身者からも「これは友人にお勧めできる」とのコメントがありました。

また、当事務所としては、北海道観光振興機構が制作したばかりの新しいパンフレットや動画を提供し、観光PRの面で当フェアに協力させていただきました。

今回のフェアの仕掛人であるセブンイレブン中国の結城晃 副総経理からは、「インバウンドの本格再開が近いこの時期に、弁当を通じて中国の消費者に北海道旅行への興味を喚起したいと考えた。様々な関係者との連携により今回の企画が実現できた。これからも、日本各地の魅力を紹介しながら、日中間の交流促進にも寄与していきたい。」と伺いました。



スープカレー弁当（24.8元）※1元=約19.5円



豚丼（焼肉弁当）（19.8元）



豚焼肉おにぎり（4.9元）



あずきスフレケーキ（8.9元）



観光パンフのサンプル



北海道フェア特設サイト  
商品印刷 QRコードからリンクし、  
観光動画や道産品シンボルマーク、  
北海道 SNS なども紹介

売れ行きも非常に好調で、北海道をテーマにした弁当の追加企画も検討中とのことであり、当事務所としても、引き続き連携を深めて参りたいと考えております。

**（件名）北海道観光&美食を楽しむ会を上海で開催**

日本への旅行が好きな消費者向けに、北海道の観光と美食を紹介するイベントを上海で開催しました。

**◆北海道観光&美食を楽しむ会**

日時：4月22日（土）14時～16時  
会場：上海市静安区華山路328号 氦空間 B1 ホール  
主催：東急商務諮詢（上海）有限公司  
協力：日中経済協会上海事務所北海道経済交流室  
プリンスホテル上海代表処、上海錦江旅遊有限公司  
参加者：約125名（286名の応募あり）  
概要：北海道の観光の魅力、道内ホテル、旅行プランのプレゼン  
中国で販売している道産品の紹介プレゼン、試飲試食、販売 など

**1. 経緯**

日中間の往来の正常化が近いとの期待が高まる中で、コロナ後初めての海外旅行の目的地として北海道を選択してもらうことを狙った取組が何かできないか検討していたところ、本年2月、東急グループの中国現地法人である東急商務諮詢（上海）有限公司から、本イベントの企画について相談があり、連携して実施することとなりました。



会場全景

**2. イベントの概要**

北海道観光の旬な情報をお伝えするため、当事務所のスタッフによるプレゼンを皮切りに、東急、プリンスホテル、上海の旅行会社などが道内の自社ホテルや旅行ルートなどの提案を行いました。

さらに、道産品の魅力も紹介するため、中国で販売している米、酒、菓子の魅力紹介のプレゼン、実際の試飲試食、販売を行いました。

持ち込んだ道産品の大半が売り切れたほか、ECサイトを使った注文もありました。米や酒のように重量や体積が大きな商品は、後で発送して欲しいという需要も多く、即売・ECの双方の準備が重要と認識しました。



ミニクラ丼の試食

**来場者の感想（主なもの）**

- ・とても充実した情報提供イベントでした。有意義な時間でした。（30代男性）
- ・先日3年マルチビザが取れたところでした。本日の情報を参考に、5月12日に札幌に行きます。（30代女性）
- ・旅行会社が紹介した旅行プランは具体的に販売していますか。（50代男性）
- ・ゆるキャラのキュンちゃん（ぬいぐるみ）が可愛かったので記念写真を撮りたい。できれば持ち帰りたい。（20代女性）

**3. 展望等**

2時間のイベントの終了まで途中退席者はわずかで、旅行ルートやホテル情報などの画面をカメラに収める姿が多数見られました。約1年前に上海で実施した同様のイベントの参加者と比較して、北海道の観光情報に対する真剣味が著しく高いように感じました。

背景としては、イベント開催時点では、訪日団体観光ビザの申請事務を中国政府が認めていない一方で、ビジネスビザや個人マルチビザの取得者は日本に少しずつ渡航し始めていること等があると思われます。団体観光ビザが解禁され本格的な訪日旅行の再開が決まった時には、更なる北海道旅行熱の高まりが期待されます。

当事務所では、今回のような消費者向けイベント（BtoC）に加えて、旅行会社向けの新たな観光情報の提供（BtoB）など、様々な機会を捉えた北海道観光PRに取り組みたいと考えます。その際には、道産食品の試飲試食などの取組もできるだけ連動させ、五感に訴える北海道PRを目指してまいります。



参加者全員での集合写真